



近年、既存施設の老朽化による建替えに自治体の合併等も後押しする形で、地方の公立文化施設の建設が再び目立ちだした。一方で、地方における様々な文化活動を支えたり文化芸術を楽しむ施設とそれらを取り巻く環境は、高齢化や人口減少が本格化しはじめ、以前とは少しずつ変化している様にも見える。

昨今、計画・設計・建設されている事例は、かつて地方において数多く建設された同種施設の延長線上にあるのか、それとも縮退に向かう時代ならでは文化創造のあり方への取り組みが行われているのであろうか。施設の機能はもとより、立地・規模感などについて、建築的側面のみならず運営面も視野に入れて、地方におけるこれからの公立文化施設のあり方の理解を深める目的で、見学会とミニシンポジウム形式の研究会を企画する。



プログラム

- ・見学会：13時30分～15時
- ・ミニシンポジウム：15時～16時30分
 - 1) 主旨説明：浦部智義（日本大学／文化施設小委員会主催）
 - 2) 話題提供者：青木 淳（青木淳建築計画事務所／設計者）
三次市民ホール計画策定関係者
三次市民ホール運営者
 - 3) パネルディスカッション
パネリスト：上記の話題提供者3名
コメンテーター：坂口大洋（仙台高等専門学校／文化施設小委員会前主査）
谷川大輔（近畿大学／同委員）
小林徹也（シアターワークショップ／同委員）
進行：谷川大輔・小林徹也（前掲）

日時：2015年9月9日（水）13:30～16:30

会場：三次市民ホールきりり「サロンホール」

（〒728-0021 広島県三次市三次町 111 番地 1）

参加費：会員 1,000 円、後援団体 1,200 円、
会員外 1,500 円、学生 500 円
（資料代含む／当日会場払い）

定員：100 名（申込み先着順）

申込み：代表者氏名・所属・参加人数を下記メールアドレスへお送り下さい。

日本大学工学部浦部研究室（担当：川島）

E-mail：urabe.moustache@gmail.com

主催：一般社団法人 日本建築学会 建築計画委員会 施設計画運営委員会 文化施設小委員会
後援：公益社団法人 劇場演出空間技術協会

